

BUDŌ

NEWS

今月のニュース



平成 25 年度 全日本少年少女武道錬成大会

(2 ページ)

全日本銃剣道選手権大会

(28 ページ)

その他のニュース

全日本青年銃剣道大会 (36 ページ)

全国道場少年剣道大会 (40 ページ)

全国都道府県中学生相撲選手権大会

(44 ページ)

わんぱく相撲全国大会 (48 ページ)



全日本銃剣道選手権大会入賞者

前列左から 3 位・八岡、優勝・日高、2 位・坂元、3 位・松野

少年少女武道錬成大会

武道少年・少女にとっての夏の一大行事である全日本少年少女武道錬成大会が、今年も日本武道館で開催された。

7月20日の合気道から始まり、弓道（21日）、剣道（27・28日）、空手道（8月3日）、柔道（4日）、銃剣道（7日）、少林寺拳法（10日）、なぎなた（11日）の8種目・延べ9日間に、全国から約1万4千名が集まった。

参加者たちは、日頃の稽古で培った技と心で基本錬成や試合・演武に力いっぱい取り組み、日本武道館大道場は熱気に包まれた。



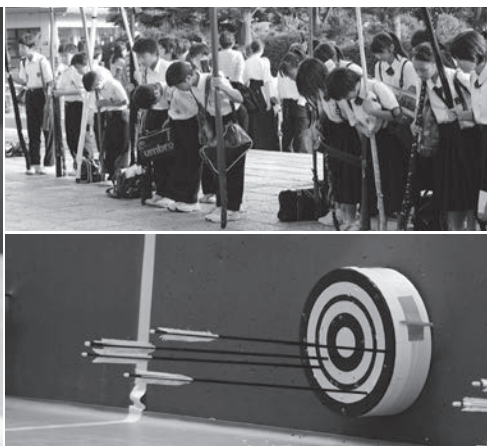
弓道

7月20日 88団体 1,091名参加

開会式では、奥田幹生日本武道館常任理事と加藤出全日本弓道連盟専務理事が挨拶した。

基本錬成は、準備体操の後、徒手八節を参加者全員で行った。続いて、教士八段4名による特別演武が披露された。

試合錬成は1チーム3名の団体戦で行われ、予選は立射で各4名が各4射行い、男女とも6中以上で決勝に進出。決勝は坐射で各4射ずつ行い、的中数で争われた。選手たちは、真剣なまなざしで弓を引いた。





特別演武（飯島千代子、張替謙一、桑田秀子、坂本武彦教士八段）



ちかいのことば
川原井カノン・永島京佳
（栃木県・岩舟中学校）



加藤 出
全日本弓道連盟専務理事



奥田幹生
日本武道館常任理事



合気道

7月21日 150団体 2,370名参加

開会式では、松永光日本武道館会長と植芝守央合気会理事長が挨拶をした。

基本錬成では、舟漕ぎ運動などの準備運動と、小1から中3まで、2学年ごとに分かれての稽古錬成が行われた。続く演武錬成では、各道場ごと2分間の演武を披露。合気道を学ぶ全国の少年少女が日頃の練習の成果を思う存分発揮した。

その後、OB・OGの模範演武が行われ、最後は植芝充央本部道場長代行の総合演武で締めくくられた。





総合演武（植芝充央本部道場長代行）



ちかいのことば
田中智也（岡山県・倉敷天領塾）
影山範子（岡山県・倉敷市立西
中学校合気道部）



植芝守央
合気会理事長



松永 光
日本武道館会長



剣道

7月27・28日 867団体4,812名参加

開会式では、初日は白井日出男日本武道館理事長と松永政美全日本剣道連盟副会長が、2日目は島村宜伸日本武道館常任理事と松永副会長が挨拶した。

開会式の後には会場いっぱい広がって準備運動と素振りを全員で元気にやった。

試合は5人制の団体戦で行われ、基本判定試合と一本勝負、ベスト8からは三本勝負で争われた。選手は力いっぱい竹刀を振り、気合いの入ったかけ声が響き渡った。





公開演武
「木刀による剣道基本技稽古法」
(東京都・府中市剣道連盟)



ちかいのことば (28日) ちかいのことば (27日)
寺井千翔 塚本結女
(静岡県・浅羽少年剣道教室) (兵庫県・上郡剣道教室)



松永政美



島村宜伸

全日本剣道連盟副会長 日本武道館常任理事



空手道

8月3日 145団体 2,078名参加

開会式は松永光日本武道館会長と
笹川堯全日本空手道連盟会長が挨拶
した。続く基本錬成では、参加者全
員が前田利明氏の号令で準備体操、
突き、蹴りなどの基本動作の稽古を
行った。

試合錬成は小学1・2年生、3・
4年生、5・6年生、中学生に部門
分けし、団体形を行った。団体形の
上位8チームが組手競技で行われる
決勝トーナメントに進出した。

気合いの掛け声が今年も大道場に
響き渡った。





模範演武「団体形・クルルンファ」
(木村陽子、森岡実久、柏岡鈴香)



ちかいのことば
大西悠太(香川県・剛柔会日新館〔右から3人目〕)



笹川堯
全日本空手道連盟会長



柔道

8月4日 287団体 3,027名参加

開会式では、松永光日本武道館会長と小野沢弘史全日本柔道連盟専務理事、大槻秀明文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ政策調査分析官が挨拶をした。

基本錬成では、持田達人七段の指揮で、強化選手4名による模範演武と技の解説が行われた。その後、指導者とのかかり稽古となり、元気に挑む参加者の姿が多く見られた。

続いて、低学年、高学年に分かれて全16試合場で試合錬成が行われ、白熱した試合展開に会場が沸いた。





模範演武（指揮者＝持田達人、演武者＝川上智弘、川端龍、宇高菜絵、石川慈）



ちかいのことば

笹倉滉大
（富山県・県営富山武道館）



大槻秀明文部科学省スポーツ・
青少年局スポーツ政策調査分析官



小野沢弘史
全日本柔道連盟専務理事



銃剣道

8月7日 38団体 206名参加

開会式では、白井日出男日本武道館理事長と酒井健全日本銃剣道連盟会長が挨拶をした。続いて、特別演武「銃剣道基本・応用技」が披露された。その後、参加者は2つのグループ（小1から小4まで、小5から中3まで）に分かれて合同錬成を行い、銃剣道・短剣道の各基本技の練習と互角稽古で汗を流した。

試合錬成では、大道場に9つの試合場を設け、銃剣道・短剣道ともに団体戦、個人戦が行われ、選手たちは闘志を漲らせて力の限り戦った。





特別演武「銃剣道基本・応用技」
(濱田玲子、西田春美)



ちかいのことば
平田秀幸
(滋賀県・今津銃剣道スポーツ少年団)



酒井 健
全日本銃剣道連盟会長



臼井日出男
日本武道館理事長



少林寺拳法

8月10日 192団体 1,710名参加

開会式では、三藤芳生日本武道館理事・事務局長と宗田貴少林寺拳法グループ総裁が挨拶をした。

基本錬成のあと、小・中学生の見習いから有段者までが各部門に分かれ、演武錬成に汗を流した。

続いて稽古錬成では、初めに富士見ヶ丘高等学校少林寺拳法部による模範演武が披露された。その後、参加者全員で、蹴りや、突きの基本動作の稽古を行った。

最後に新井庸弘少林寺拳法連盟会長が挨拶し、大会は幕を閉じた。





模範演武
(富士見ヶ丘高等学校少林拳法部)



鎮魂行・主座
露崎裕翔
(木更津岩根道院拳友会)



新井庸弘
少林拳法連盟会長



宗 由貴
少林拳法グループ総裁



三藤芳生
日本武道館理事・事務局長



なぎなた

8月11日 132団体 1,003名参加

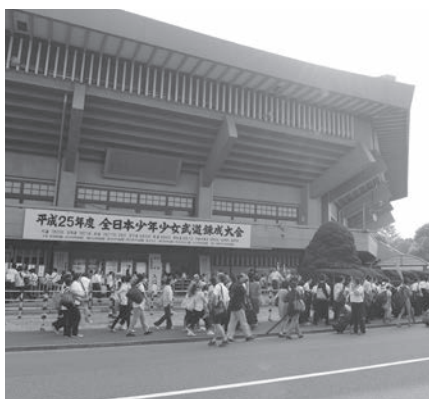
開会式では、松永光日本武道館会長と佐藤浩市全日本なぎなた連盟会長が挨拶に立った。

基本錬成では、準備運動をしてから、指揮に合わせて元氣いっぱい素振りと体捌きを行った。

競技は、演技競技と試合競技が、学年ごとのトーナメント戦で行われた。選手たちは凜とした表情でなぎなたを構え、日頃の稽古の成果を発揮した。

最後に、川口千代全日本なぎなた連盟副会長が挨拶して閉会した。





ちかいのことば
二上かのこ
(東京都・江東区なぎなた連盟)



全日本なぎなた連盟
川口千代副会長



全日本なぎなた連盟
佐藤浩市会長



【青森県】 玉田あず実・張間遍（青森道場）

【岩手県】 遠藤葉奈・菅原美羽・千葉涼香・浅利実佑（多田塾奥州道場）

【福島県】 根本佳季・並木柚木・本田健人・熊田紘也・青山達也（合気道須賀川道場）

【茨城県】 中矢耕輔（つくば牛久合気道友会）、麻生莉沙子・中島愛理香・モハバティ沙羅（江戸崎合気会）、根田直子（ヨークカルチャーセンター日立ジュニア合気道）、長谷川玲音（取手市合気道スポーツ少年団）、福地美菜（水戸市合気道スポーツ少年団）、藤井裕大・梶山翔聖・上野凌雅・矢板輝・石井舞乃・永井愛美・湯藤なのか（ひたちなか市合気道少年団）、大内彩楓・橋本拓磨・藤原千穂子・片貝翔太・米澤輝・海老沢大樹・神龍聖（岩間合気道スポーツ少年団）、大内優月・田所優志（東海合気道少年団）、浅川夏美・松本望愛（常陸大宮合気道少年団）

【栃木県】 関根彩予・関根怜花・安西涼哉・小暮美月・安西彩夏（小山合気会）

【群馬県】 綿貫ちひろ・齋藤葵（薫風館）

【埼玉県】 高橋明理・坂田連斗・今井大翔・今村太一・酒向優至・岩淵晃大・渋谷知夏（合気道志優館）、井上智博・山口あかり・石井葵・先崎慶治郎・細田万結（合気道浦和尾又道場）、藤江陸（A & P 合気道石垣道場）、須藤秋人・岩崎優馬（大成合気道会）、小杉哲大・岡本華凜（志陽館）、武田真弥楓（蔵合気道会）、石川優里花・ゴーマンレイア・中島一輝・ゴーマン朗馬（合気道大宮道場）、奥寺良太・浅野綺花・浅野拓哉（浦和合気会）、奥村愛・内野公佑（合気道越谷道場）、永橋育実（蓮田合気会）、三浦将輝（合気道川島町同好会）、奥山巧真（合気道川越道場）、品川輝（日高市合気道同好会）、和田隆一・鶴巻浩平（狭山市合気道教室）、狩生遥香・狩生琴音（合気道修練道場自然館）、永田道成・鯨文久美（合気道和光道場）、金丸未依・三上十和・飯田茜（志木合気会）、蛇沢柚月（神明塾）、細山田愛花（入間幸武館道場）、ペロフスヴァトスラフ（新所沢合気道同好会）、小林菜瑞乃（白岡合気会）、加山瑛大・手塚雄太郎（合気道桶川愛気会）、大屋柊人（合気道健武館）

【千葉県】 谷津双葉・武田菜喜子（千葉市都合気道スポーツ少年団）、横山晴輝・小林篤史（合気道花見川道場）、亀田真人・藤野今日子（合気道弘龍會明心館道場）、西田愛梨・阿部太郎（千葉市武道館合気道スポーツ少年団）、友成仁・合田有希（流山合気道同好会）、齋藤陸斗（我孫子市合気道スポーツ少年団）、服部太亮（柏合気会少年部）、大石凜太郎・前田廉・細川直亨・高橋勇多・井川珠実・大野聖莉・佐藤凜太郎（明清会白井道場）、高橋良輔（船橋合気会）、小林広周・鈴木聖・鹿野椋太（八千代市合気道連盟）、小野田天樹（富里合気道友会）、柘植奈津子（銚子合気道会）、渡部風維人（山武市少年合気道クラブ）、内山優嘉・松井孝典・川島加維（合気道松心館）、松崎英治（安房館山道場）、山下夏怜（八街合気道友会）、河崎エリカ（合気道誠氣会）、仲子弦次郎（高根台カルチャーセンタージュニア合気道）、森巧平・岡田大空（稲毛スポーツ少年団）

【東京都】 吉田成耀・長澤芳紀（合気道宇宙の会）、櫻井七海・日野仁泰・横井瑛人（武蔵中学校合気道部）、石山琢真・津久戸考平・村田彩奈・小澤静夏・樋渡徹平・花澤悠作（荒川合気会）、高橋旭陽・矢島悠吾・木内雄太（道学館）、石崎夏夏・渡邊凌也（合気道順風会）、樋口晴（合気道石田塾）、黒岩春花（足立合気会）、植田萌愛・清水夕梨乃・松川花（葛飾合気会）、米重直斗・武藤菜月（合気道土井道場）、久野恵太郎（城東誠和会）、大岡恭子・黒川結希（合気道両国魂友会）、星野真鐘（鐘ヶ淵合気道クラブ）、前谷有輝・久保風草（新小岩合気会）、原田耀里（江戸川環七合気道クラブ）、飯田達郎・飯田桜子（合気道進藤道場）、

佐藤絋里・高橋歩果（品川区立荏原平塚学園）、小泉駿吾（東急セミナー BE 青葉台）、吉野智（大森第三中学校合気道会）、鈴木聖羅（西馬込合気道会）、塚田光（大田区合気道会）、阿久澤基博（合気道八起会）、渡邊礼恩（渋谷区合気道同好会）、今井悠輔・手島駿介（守清館）、立川楓大・中山裕介・田中香乃子・山岸未怜・富永晃太・井手恵理香（祖師谷合気会）、木村壮一・田野和希（明清会）、森裕斗（合気道自由が丘道場）、黒澤泰河・河西恵来（中野区合気道会）、小川ラフリ（明清会）、鈴木菜摘・田中彩葉・加藤なつ美・西浦時空（板橋区合気道連盟）、渡邊武蔵・山本桜子（合気道心会）、木村奎太・海阪大和（合気道練馬総合体育館道場）、海雲美風・大勝義輝・高橋未来・堀八千流・保坂駿介・島田裕大・小川幸介・藤野朋志・栗原南海人・井本晶子・田中瑤実（合気道新川塾）、馬場未羽・小林龍・吉岡龍ノ介（仙川合気道春風）、狩野琳太郎・石原一樹・石原綾乃・石田裕史・坂入ジャスミイ（仲池合気道同好会）、岸辰弥・霜田和希（多摩川合気道会）、河合秀太・豊田貴裕（調布合気道会）、今野涼香（東村山市合気道会）、阿部登太（合気道「倫」、鷹下翔香・久保ゆい（立川市合気道会）、斎藤嘉泰（東大和市合気道会）、土屋七璃海（合気道三澤塾）、吉田悠真（鷹の台合気道同好会）、實生葉・村野文崇・能瀬陽菜（新宿スポーツセンター合気道教室）、豊田寛・小川建豪（公益財団法人合気会本部道場少年部）、大内田美月（日本武道館武道学園）、佐々木愛純・佐々木英慈（東村山シダックスカルチャーセンター）、土屋瑠織・佐藤潤（おおぞら合気道）、雑賀紗友・新関礼・高島達成・東條雅月・神保有為子・黒田堯晴・深谷玄太・西村悠希・濱野風・新関春日・川本湧湖・古田悠（合気道月窓寺道場）

【神奈川県】 斉藤大和・斉藤健人・林真由・中村望咲（合気道幸徳会）、二村稲夏・高田晴明（青葉塾道場）、吉田彩輝・三溝晴子（合気道春水道場）、三品美佳・高橋正樹（桜台合気道クラブ）、石井希鈴（春陽会）、竹下純平・竹下峻平（葉山町合気会）、加津葵（南林間カルチャーセンター）、青木幸久（横浜南合気会）、今枝礼華・中曽根泰久・早川宙良（鶴岡八幡宮研修道場合気道科）、雨宮拓真・小宮稜生・河村絃壱（城下町合気道（小田原道場））、小林舜弥・麻野智生（無門館）、藪唯奈・川瀬未結（合気道相模和道会）、岩崎諒（合気道高城道場 合気道わんぱく道場）、増井穂・濱口海・大沼夢泉・千葉大和・岩澤雄太・星日向・大沼良夢・長谷川丈（寒川合気会）、立原花菜・高住昂樹・鈴木宇留・室井晴信（国立印刷局合気道部）、佐藤剛大（秦野武産合気会）、露木悠聖（二宮合気会）、吉田拓斗（相模原カルチャーセンター）

【新潟県】 井上拓土・長谷川武雅（新潟合気会みなと道場）、

【静岡県】 小田瑠菜・鈴木茜理（長泉合気会）、平山夢叶（裾野合気会）、津田遥香・村田雅史（合気道石芯塾童夢の会）、

【大阪府】 新澤理央・西川遥香（合気道正勝会）、近藤彩華・近藤海聖・江口友佑・近藤稜祐・江口陽・黒田雅衣・近藤紗雪・古谷文・岡本悠花・近藤千夏・葛籠凌・澤実乃里・木村彩乃（合気道泉州武育会）

【京都府】 一柳紀仁・松浦絳大（合気道多田塾入江道場）

【奈良県】 亀井一樹・永尾浩貴・西村大輝・山口哲史・米田琢人（合気道西大和会）、上田ひかり（合気道三錬会）

【和歌山県】 山本咲羽・福田健人・前川倅悠（和歌山竹豊館道場）

【岡山県】 浅野円香・田中智也・間野穂乃花・岡田真美（倉敷天領塾）、影山範子（倉敷市立西中学校合気道部）

【香川県】 石塚遼真・石川壮太・古川将也・片山裕斗（高松合気会）、赤池風佳・西山日菜乃（合気道立志館）

弓 道

7月20日開催

男子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
鹿児島市立緑丘中学校弓道部 A (鹿児島) 日光市立今市中学校 A (栃木)	陵南中学校 A (鹿児島) 豊川市立中部中学校 C (愛知)	皇徳寺中学校 A (鹿児島) 松戸市立第六中学校 B (千葉) 富士松中学校 C (愛知) 幸田町立幸田中学校 (愛知)	松戸市立栗ヶ沢中学校 A (千葉) 皇徳寺中学校 A (鹿児島)
努力賞	予選通過チーム (12 射 6 中以上) 14 チーム		

女子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
清原中学校 C (栃木) 山鹿市立山鹿中学校 B (熊本)	松戸市立栗ヶ沢中学校 C (千葉) 日光市立今市中学校 C (栃木)	清原中学校 B (栃木) 日光市立今市中学校 A (栃木) 石巻中学校 (愛知) 鹿児島市立喜入中学校 A (鹿児島)	清原中学校 C (栃木) 日光市立今市中学校 A (栃木)
努力賞	予選通過チーム (12 射 6 中以上) 13 チーム		

剣 道

7月27日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第 1 ブロック	山梨健心館 A (山梨)	水龍館 A (静岡)	志道館学園 (岐阜)	久里浜剣友会 (神奈川)
第 2 ブロック	白川台少年剣修会 (兵庫)	三剣会 (大阪)	武修館 (静岡)	相南剣友会 (神奈川)
第 3 ブロック	豊中小曾根剣友会 (大阪)	神戸枝吉己勝館 (兵庫)	武蔵館 B (埼玉)	修武館 (愛知)
第 4 ブロック	上の台剣友会 (千葉)	斉信館剣友会 (神奈川)	共栄館道場 A (新潟)	木太剣児会 (香川)
第 5 ブロック	二宮町体育協会二宮剣道部 (神奈川)	十河剣道スポーツ少年団 (香川)	栗南剣道スポーツ少年団 (岐阜)	柏武道館 A (千葉)
第 6 ブロック	武蔵館 A (埼玉)	いばらき少年剣友会 A (茨城)	桜南剣友会 A (埼玉)	東松館剣道部スポーツ少年団 (東京)
第 7 ブロック	東松館道場 (東京)	柏井剣志会 A (千葉)	福生警察署少年剣道部 (東京)	群馬県武道館剣道教室 (群馬)
第 8 ブロック	大津少年剣道クラブ (熊本)	鬼高剣友会 A (千葉)	新知剣道教室 A (愛知)	河内剣道クラブ A (栃木)

7月28日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第 1 ブロック	武徳館剣道教室 A (愛知)	昇龍館道場 (岡山)	須坂剣道連盟 A (長野)	権堂少年剣友会 A (長野)
第 2 ブロック	新宮剣志館 (兵庫)	穴師剣道会 (大阪)	芳明館 A (茨城)	尚道館 B (静岡)
第 3 ブロック	和歌山武道館剣道錬成クラブ A (和歌山)	鹿沼市剣友会 A (栃木)	緑苑剣道少年団 (岐阜)	玄武道場 B (愛知)
第 4 ブロック	解脱錬心館 A (埼玉)	乙島剣道スポーツ少年団 (岡山)	わかわし剣道スポーツ少年団 (沖縄)	浜北剣道スポーツ少年団 (静岡)
第 5 ブロック	剣修館道場 A (静岡)	長狭剣友会 A (千葉)	五葉館 A (栃木)	小山田源流館 (大阪)
第 6 ブロック	大道塾 A (沖縄)	鎌田剣道スポーツ少年団 A (福島)	尚武館 (滋賀)	誠道会南部道場 (静岡)
第 7 ブロック	宮原少年剣友会 (和歌山)	尚道館 A (静岡)	鴻ノ池道場 A (奈良)	館林赤羽剣友会 A (群馬)
第 8 ブロック	新化館 (石川)	永山剣友会 A (東京)	横浜戸塚 (神奈川)	能勢武勇館 (兵庫)

空手道

8月3日開催

小学1・2年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 A (東京) 全日本空手道一友会 B (東京)	空手道一心塾 (千葉) 剛柔会相模館 (神奈川)
優良賞	清原空手道スポーツクラブ A (栃木)
明桜塾 A (千葉) 泊親会正真館 A (静岡)	日本空手道泊親会川崎 B (神奈川)
敢闘賞	全日本空手道連盟剛柔会誠明館 F (神奈川)
正統唐手成徳会 B (東京) 鴻志会養正館 A (静岡) 剛柔館清水道場 (静岡) 鴻志会養正館 D (静岡)	英空会 (神奈川) 全日本空手道連盟剛柔会誠明館 C (神奈川) 順道館 B (東京)

小学3・4年生の部

優秀賞	努力賞
空手道一心塾 (千葉) 全日本空手道一友会 B (東京)	英空会 (神奈川) 麻布十番空手道教室皆思道場 A (東京)
優良賞	教空会空手道場 (東京)
明桜塾 A (千葉) 正統唐手成徳会 B (東京)	鴻志会養正館 A (静岡) 拳心会荒川 B (東京)
敢闘賞	日本空手道翔成会 (神奈川)
全日本空手道一友会 A (東京) 明桜塾 C (千葉) 拳勝館六会支部 A (神奈川) 空手道拳志会 B (東京)	鴻志会養正館 C (静岡) 正武館空手道場 D (東京)

小学5・6年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 A (東京) 全日本空手道一友会 C (東京)	NPO 日本教育空手協会 A (宮城) 拳勝館鎌倉支部 A (神奈川)
優良賞	正武館空手道場 C (東京)
維新会館大民塾 (静岡) 泊親会正真館 B (静岡)	剛柔会相模館 (神奈川)
敢闘賞	全日本空手道連盟剛柔会誠明館 C (神奈川)
日本空手道拳志会 B (東京) 全日本空手道一友会 B (東京) 佐世保尚武館 (長崎) 全日本空手道連盟剛柔会誠明館 B (神奈川)	英空会 (神奈川) 鴻志会養正館 C (静岡) 日本空手道拳志会 A (東京)

中学生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 B (東京) 正武館空手道場 C (東京)	明桜塾 A (千葉) 清原空手道スポーツクラブ C (栃木)
優良賞	千政館福井支部若狭会 A (福井)
拳勝館六会支部 (神奈川) 全日本空手道一友会 A (東京)	剛柔流空手道勝山会 (千葉)
敢闘賞	全日本空手道連盟剛柔会誠明館 A (神奈川)
国際松濤館空手道連盟瑞穂支部 (東京) 空手アカデミー拳勝館湘南台支部 (神奈川) 空手道拳志会 B (東京) 全日本空手道連盟剛柔会誠明館 B (神奈川)	剛柔会相模館 (神奈川) 正武館空手道場 B (東京) 剛柔会正剛道場 (静岡)

柔道

8月4日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞
第1ブロック (高学年)	弥刀少年柔道クラブ (大阪)	つくばユナイテッド柔道 (茨城)	吉田道場 (東京) 臥牛館道場 (東京)
第2ブロック (高学年)	春日柔道クラブ (東京)	一心館菅谷道場 (茨城)	明心館関本道場 (千葉) 守口東部少年柔道教室 (大阪)
第3ブロック (高学年)	朝飛道場 (神奈川)	土浦市体育協会柔道部 (茨城)	東方館 (京都) 社柔道少年団 (兵庫)
第4ブロック (高学年)	松前柔道塾 (東京)	愛柔会 (神奈川)	羽田野道場 (愛知) 小川道場 (神奈川)
第5ブロック (低学年)	春日柔道クラブ (東京)	佐藤道場 (群馬)	石山塾 (滋賀) 紅柔道少年団 (千葉)
第6ブロック (低学年)	古賀塾 (神奈川)	愛柔会 (神奈川)	岩井柔道部 (茨城) つくばユナイテッド柔道 (茨城)
第7ブロック (低学年)	雄武館山中道場 (秋田)	二見少年柔道クラブ (兵庫)	羽田野道場 (愛知) 大石道場 (愛知)
第8ブロック (低学年)	無心塾飯島道場 (茨城)	広畑柔道教室 (兵庫)	克己塾 (長野) 五十嵐道場 (埼玉)

銃剣道

8月7日開催

団体戦

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学 5・6 年生	北風（北海道）	今津銃剣道少年団（滋賀）	七ヶ浜銃剣道スポーツ少年団 A（宮城）	滝川少年銃剣道（北海道）
中学生	今津銃剣道少年団（滋賀）	本間道場（神奈川）	名寄ピヤシリ銃剣道少年団（北海道）	大村市少年銃剣道クラブ A（長崎）

銃剣道個人試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学 1・2 年生	谷 誓哉（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	須田琉唯（練馬銃剣道クラブ）	坂井夢空（今津銃剣道少年団）	西丸穂乃花（春光銃剣道クラブ）
小学 3 年生	滝沢流夏（元気道場）	小池陽子（元気道場）	中島 光（元気道場）	高橋凌平（元気道場）
小学 4 年生	岩渕咲也（春光銃剣道クラブ）	南條光希（勝北銃剣道クラブ）	小針玲音（春光銃剣道クラブ）	岸 晃生（本間道場）
小学 5 年生	北出泥弥（今津銃剣道少年団）	柴田裕次郎（松戸練成館）	日高光晟（小奴可剣友会）	岩館康太（紫波銃剣道クラブ）
小学 6 年生	福田啓星（千歳少年銃剣道クラブ）	川又瑠聖（美幌銃剣道少年団）	渡辺泰雅（七ヶ浜銃剣道少年団）	入澤瑠星（勝北銃剣道クラブ）
小学 5・6 年生 女子	吉見風香（今津銃剣道少年団）	澤田百花（揚武館伊勢原道場）	石岡悠来（春光銃剣道クラブ）	寒河江瑞希（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）
中学 1 年生	寒河江優斗（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	田中真太郎（九徳塾）	高田 権（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	高田 柊（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）
中学 2 年生	柴原正康（本間道場）	稲見将太（勝北銃剣道クラブ）	宮本晴飛（名倉銃剣道クラブ）	諏佐拓泉（滝川少年銃剣道）
中学 3 年生	平田秀幸（今津銃剣道少年団）	小笠原陸（本間道場）	鈴木和也（博真館）	諸隈 快（大村少年銃剣道クラブ）
中学生女子	柴原幸佳（本間道場）	酒井萌菜（名倉銃剣道クラブ）	山本菜々子（勝北銃剣道クラブ）	澤田夢花（揚武館伊勢原道場）

短剣道個人試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学 1・2 年生	谷 誓哉（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	坂井夢空（今津銃剣道少年団）	東 叶夢（千歳少年銃剣道クラブ）	小泉孝輔（博真館）
小学 3・4 年生	澤田奈々花（揚武館伊勢原道場）	岸 晃生（本間道場）	山内鶴士（千歳少年銃剣道クラブ）	岩渕咲也（春光銃剣道クラブ）
小学 5・6 年生	渡辺泰雅（七ヶ浜銃剣道少年団）	坂詰遥聖（共栄館道場）	田嶋康平（博真館）	福田啓星（千歳少年銃剣道クラブ）
中学生	澤田夢花（揚武館伊勢原道場）	渡邊紫音（共栄館道場）	松浦豪士（春光銃剣道クラブ）	坂詰瑞波（共栄館道場）

なぎなた

8月11日開催

演技競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学 1・2 年	植草利心・長嶋 春優 (瑞穂なぎなたスポーツ少年団)	木村真唯・二方琉綺 (横須賀なぎなた協会)	安部穂乃可・武田日和 (さくらんぼうなぎなたクラブ)	中村星満・金野天真 (江東区なぎなた連盟)
小学 3・4 年 A	木村実穂・大沼怜史 (奈良市なぎなた連盟)	州之内桃花・神山美完 (北条なぎなたスポーツ少年団)	佐久間琴子・小林美菜 (君津市なぎなた連盟)	大竹優奈・吉田天音 (会津なぎなたスポーツ少年団)
小学 3・4 年 B	水尻祥子・伊藤 合 (みたけなぎなたスポーツ少年団)	六車綾乃・犬伏麻緒 (川西スポーツクラブ)	石塚千晶・大塩未緒 (奈良市なぎなた連盟)	落合 翼・渡邊小暖 (富士市なぎなた連盟)
小学 5・6 年 A	赤羽愛翔・高澤萌愛 (松本市田川なぎなたスポーツ少年団)	山火萌乃佳・上村友梨佳 (一戸町なぎなた協会)	乗松由佳・三好真緒 (北条なぎなたスポーツ少年団)	内田雅季・下川紗奈 (福井なぎなたクラブ)
小学 5・6 年 B	金野 碧・永井結衣 (江東区なぎなた連盟)	松田もえ・村上小夏 (奈良市なぎなた連盟)	苗木ひかる・杉村明日香 (奈良市なぎなた連盟)	小島 奏・今井ここの (愛知武道館クラブ)
小学 5・6 年 C	穂 乃菜・清原明華 (奈良市なぎなた連盟)	相葉有里花・榎本遥斗 (奈良市なぎなた連盟)	田村百花・鷹嘴陽夏 (みたけなぎなたスポーツ少年団)	志知菜月・今川育海 (藤井寺市剣道薙刀協会)
中学 A	宇佐美維乃・板倉芳乃 (弥富市なぎなた連盟)	佐々木卯月・佐々木ヒカル (みたけなぎなたスポーツ少年団)	星 風音・小山和葉 (山形市立第三中学校)	金野夏月・田中里彩 (江東区なぎなた連盟)
中学 B	織田千尋・中嶋彩佳 (福井なぎなたクラブ)	村上こと乃・杉浦壮思 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	倉田真衣・菊地夏々子 (文化学園大学杉並中学校なぎなた部)	杉俣日奈子・前田幸那 (鯖江なぎなたクラブ)
中学 C	岩佐朱紗・山本恭子 (鯖江なぎなたクラブ)	熊谷里奈・武田智摘 (一戸町立奥中山中学校)	東條理紗・石橋春奈 (琴平中学校)	国廣ゆかり・岡部真歩 (羽島市なぎなた協会)
中学 D	大井川滯・後藤 葵 (会津なぎなたスポーツ少年団)	紺屋優夏・山本文咲 (鯖江なぎなたクラブ)	宮崎七緒・端野実紗 (七尾市立七尾東部中学校)	森 香澄・鎌田美侑 (琴平中学校)
中学 E	上野凛花・齋藤俊慧 (会津なぎなたスポーツ少年団)	吉村実友・鈴木嶺花 (鯖江なぎなたクラブ)	池田里穂・久住あかね (清教学園中学校)	山口華苗・佐藤安希 (山形市立第三中学校)
中学 F	藤城瑛人・古館佳樹 (会津なぎなたスポーツ少年団)	木村菜々花・岩崎佑香 (高松武道館クラブ)	蛭名七海・山火ゆか (一戸町立一戸中学校)	谷口舞衣・行徳厚希 (山形市立第四クラブ)
中学 G	新本みゆ・南出成美 (和歌山県なぎなた連盟)	成田結唯・鳴瀬裕美 (会津なぎなたスポーツ少年団)	山口夏実・渡部悠雅 (会津なぎなたスポーツ少年団)	山火優生菜・野里美紗樹 (一戸町立一戸中学校)

試合競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学3年	橋垣苺佳 (斐川スポ少)	梅津瞳子 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	石塚千晶 (奈良市なぎなた連盟)	牧野 陽 (宇都宮なぎなた教室)
小学4年	大塩美緒 (奈良市なぎなた連盟)	六車綾乃 (川西スポーツクラブ)	木村実穂 (奈良市なぎなた連盟)	石垣春佳 (多賀城なぎなた連盟)
小学5年	田村百花 (みたけなぎなたスポーツ少年団)	下川紗奈 (福井なぎなたクラブ)	安藤鈴華 (養徳館)	苗木ひかる (奈良市なぎなた連盟)
小学6年	永山結衣 (江東区なぎなた連盟)	金野 碧 (江東区なぎなた連盟)	秋葉笑里 (南九州市なぎなた連盟団)	落合凜星 (稲生クラブ)
中学1年	織田千尋 (福井なぎなたクラブ室)	佐藤 菜 (江東区なぎなた連盟)	前田愛梨 (愛知祥南なぎなたクラブ)	瀧口麻衣 (福井なぎなたクラブ)
中学2年	堀 奏恵 (武陵館中嶋道場)	新本みゆ (和歌山なぎなた連盟)	安藤瑠音 (養徳館)	藤田らら (会津なぎなたスポーツ少年団)
中学3年	宮崎七緒 (七尾市立七尾東部中学校)	山口夏実 (会津なぎなたスポーツ少年団)	二上かのこ (江東区なぎなた連盟)	杉保日奈子 (鯖江なぎなたクラブ)
小学男子3・4年	大沼怜史 (奈良市なぎなた連盟)	山崎悠翔 (やまびこなぎなたスポーツ少年団)	高村陸仁 (佐倉市なぎなた連盟)	石橋佑真 (太田市なぎなた連盟)
小学男子5・6年	宮田学歩 (愛知祥南なぎなたクラブ)	主浜 命 (やまびこなぎなたスポーツ少年団)	大塩正方 (奈良市なぎなた連盟)	寒川慎也 (和歌山市雄湊なぎなたクラブ)
中学男子	齋藤俊慧 (会津なぎなたスポーツ少年団)	服部将大 (弥富市なぎなた連盟)	中尾海太 (汎愛チューリップクラブ)	藤城瑛人 (会津なぎなたスポーツ少年団)

荒井流風香(東京・東京試衛館道院拳友会) 加藤ののか・木村有里(愛知・愛知今伊勢道院拳友会) 磯田一嘉・磯田有里(大阪・富田林北道院拳友会) 佐々木想人・荒井美海香(東京・東京試衛館道院拳友会) 秋谷竜舞・長島颯汰(埼玉・埼玉川島道院拳友会) 成田蒼・遠藤悠倫(福島・須賀川スポーツ少年団) 渡辺彩夏・奥耀光(東京・日本武道館武道学園) 名嘉海斗・武部周(京都・伏見丹波橋スポーツ少年団) 後藤竜弥・小田切勇吾(群馬・群馬北毛道院拳友会) 森永雅輝・新倉颯(東京・多摩桜ヶ丘道院拳友会) 佐藤陽聖・山崎アレックス源(群馬・前橋橋道院拳友会) 押本翔・押本翼(東京・東京田無道院拳友会) 平野遥菜・河合晴喜(福島・白河東道院拳友会) 依田啓新・中島秀越(東京・東京足立東和道院拳友会) 伊藤舜喬・長尾竜也(兵庫・灘中学校・灘高校)

◇**中学生段外の部**＝菅野純佳・伊東婆織(東京・富士見丘学園) 小野間綾優・小野間瑞稀(東京・武蔵村山道院拳友会) 野島康平・天野拓馬(東京・立川第七中学校) 小澤晴莉・アディカリはる(東京・立川第七中学校) 上野賢龍・山田緑夢(東京・立川第七中学校) 増山由羅・平菜月(埼玉・東松山道院拳友会) 植田翔陽・鈴木絵梨佳(東京・南中野道院拳友会) 伯耆原結衣・島倉沙季(千葉・千葉茂原道院拳友会) 石川希恵・高橋花音(東京・立川第七中学校) 荒井瑛理・清田実里(東京・大森道院拳友会) 作山友香・定繁実久(東京・富士見丘学園) 臼田紫乃・大工原裕華(長野・佐久平南道院拳友会) 倉田綾・近藤駿太(愛知・豊明東道院拳友会) 池野龍紀・萩原知旺(静岡・南伊豆道院拳友会) 石橋花恋・山口裕璃(東京・早稲田実業) 森井悠朱・山本雅貴(京都・伏見丹波橋スポーツ少年団) 牛田修平・竹澤駿(愛知・名古屋宝南道院拳友会)

◇**小学生有段の部**＝福地将平・金子佑哉(神奈川・川崎柿生道院拳友会) 神寄真季・亀田大知(埼玉・埼玉鶴瀬道院拳友会) 畑田聖・南部慶道(和歌山・南部スポーツ少年団) 秋谷蓮・根岸樹生(埼玉・埼玉川島道院拳友会) 高橋ちひろ・三瀬凌雅(東京・武蔵国分寺支部) 遠藤澄香・宮原悠希(大阪・富田林北道院拳友会) 中川弘陸・花光大生(和歌山・南部スポーツ少年団) 鈴木日菜・坂間陸(東京・東京試衛館道院拳友会)

《単独基本演武》

小見崇真(群馬・群馬北毛道院拳友会) 吉本陽香(徳島・大麻スポーツ少年団) 佐々木爽(静岡・南伊豆道院拳友会) 兵藤暖(群馬・群馬多々良道院拳友会) 小宮諒将(東京・八王子陵北スポーツ少年団) 古村瑠菜(愛知・日進南道院拳友会) 柿澤沙保(群馬・伊勢崎東道院拳友会) 則武映杜(愛知・愛知今伊勢道院拳友会) 小森星弥(千葉・大日道院拳友会) 今富元(長崎・長崎川棚道院拳友会) 稲毛風斗(東京・久米川道院拳友会) 黒崎大地(群馬・上州白根道院拳友会) 久保輝果(群馬・渡良瀬道院拳友会) 朝日隆仁(静岡・富士西道院拳友会) 島海優輝(神奈川・小田原道院拳友会) 平塚翔(神奈川・小田原道院拳友会) 小川隼(埼玉・埼玉桶川中部道院拳友会) 吉本誠一朗(徳島・大麻スポーツ少年団) 天野佑哉(千葉・大日道院拳友会) 荒川寛満(青森・八戸岬道院拳友会) 柴田唯衣(神奈川・海老名東道院拳友会) 西川美優(東京・東京月島道院拳友会) 濱口瞭(東京・八王子陵北スポーツ少年団) 黒坂啓太(東京・町田南成瀬支部) 戸川里桜(東京・東京足立東和道院拳友会) 岩田朋太郎(群馬・前橋橋道院拳友会) 亀井陽向(群馬・群馬多々良道院拳友会)

《団体演武》

◇**中学生の部**＝瀬戸口疾風・小森丈司・高橋由弘・瀬能桃叶・木村健太・松田大毅(千葉・大日道院拳友会) 蛭川寧々花・城山春菜・寺井理耶子・古川璃々子・天幸奈穂・孫丹青(東京・富士見丘学園)

◇**小学生有段の部**＝高澤佑二郎・早坂礼乃・増田晴奈・川辺菜月・川辺さくら・小柴海亜・成瀬もも・馬場康平(千葉・千葉南道院拳友会) 武田尚樹・今井大和・大元舞咲・加藤大樹・木村太紀・森一馬(愛知・名古屋太子道院拳友会)

◇**小学生3級～1級の部**＝荊原逸斗・藤瀬大己・井上竣介・小澤竜心橋本翔・本間凜・本間蓮・芋田虎ノ介(東京・東京東陽町道院拳友会) 田塚慎・大塚憲樹・松本十字磨・宮嶋樂・辻野海羽・辻野陸駆・内山起希・三代晃勢(茨城・鹿島港南スポーツ少年団) 谷口瑠清・古田敦士・柴田創吏・松本梨沙・伊原稜亮・清水陽介・近藤憲吾・市古光音(愛知・豊明東道院拳友会) 佐野将大・西田翔映・坂本夏美・前田明日香・前田知範・南部琴子・大山葵・坂本一樹(和歌山・南部スポーツ少年団)

《規定組演武》

- ◇**小学生1級**＝志賀美咲希・後藤拓（宮城・多賀城城南道院拳友会）鮎貝海空・宮里亮（埼玉・朝霞道院拳友会）高橋京京・小林歩夢（千葉・大日道院拳友会）森俊博・荒井白雲香（東京・東京武術館道院拳友会）丸井玄太・海老原光（愛知・岡崎こだるま道院拳友会）田中淳也・鈴木直希（宮城・青葉道院拳友会）車谷貴志・小柳琳花（新潟・新潟加茂道院拳友会）阪口稜真・湯川善徳（和歌山・南部スポーツ少年団）村越歩・柿澤弘章（群馬・伊勢崎東道院拳友会）佐藤光駿・初山大雅（千葉・市原姉崎道院拳友会）秋葉ユリヤ・瀧澤奈央（千葉・千葉茂原道院拳友会）荒川大・柳田智行（香川・琴弾スポーツ少年団）石原あかり・石原蒼士（岐阜・美濃関道院拳友会）渡邊諒・高村涼（千葉・浦安道院拳友会）横山大樹・保母陽介（神奈川・横浜緑園道院拳友会）櫻井さくら・櫻井かえで（栃木・栃木瑞穂道院拳友会）佐々木研人・高橋優斗（宮城・青葉道院拳友会）今野夢生・小瀬村拓（神奈川・神奈川大和道院拳友会）立田大騎・小島ちひろ（茨城・波崎スポーツ少年団）荒井敬太・武山美紗子（神奈川・川崎東道院拳友会）
- ◇**小学生2級**＝寺尾柊哉・中村瞭太（愛知・名古屋太子道院拳友会）大川七美・大川優羽（千葉・千葉海匠道院拳友会）福田晴希・山川太聖（長崎・長崎波佐見道院拳友会）初見音羽・貞木駿也（茨城・茨城三和スポーツ少年団）園はるか・園真紗翔（千葉・市原有秋道院拳友会）根岸圭吾・鈴木一陽（埼玉・熊谷道院拳友会）丹沢昇慎・小林正明（東京・八王子陵北スポーツ少年団）山内美玖・梅田和花（愛知・愛知東浦道院拳友会）瀬戸綾乃・鹿野まり（宮城・青葉道院拳友会）片田美琴・白石葉々（埼玉・朝霞道院拳友会）ンジャエアラージロズ・山岡勇太（東京・東京錦糸道院拳友会）原田誠朗・原田真太郎（愛媛・松山北道院拳友会）伊藤陽向・木村太亮（千葉・市原東道院拳友会）吉田龍生・吉田祈代（岐阜・多治見青龍道院拳友会）古賀優希・大塚彩瑛（神奈川・小田原道院拳友会）古村勇樹・古村光輝（愛知・日進南道院拳友会）武川虎太郎・小川凌太（東京・八王子松枝道院拳友会）松本大智・中村勇陽（埼玉・熊谷道院拳友会）村岡龍太・牛島健太（愛知・東海なわ道院拳友会）
- ◇**小学生3級**＝鈴木拳太郎・出牛悠紀（埼玉・入間藤沢道院拳友会）江藤心美・西東梓（愛知・愛知今伊勢道院拳友会）岸本匠己・佐藤亜優（神奈川・海老名東道院拳友会）高橋京汰・鈴木暁斗（千葉・大日道院拳友会）葛屋柚香・岩淵風沙（神奈川・小田原道院拳友会）千葉来飛夢・近藤一基（愛知・愛知東浦道院拳友会）高橋哲哉・船山友菜（秋田・秋田湯沢スポーツ少年団）池上昂希（埼玉・川崎柿生道院拳友会）斎藤千優・藤原沙玖弥（埼玉・草加道院拳友会）土屋亮太・山本シオン（静岡・南伊豆道院拳友会）池田夏葉・芦田海遥（千葉・船橋東道院拳友会）天野正輝・黒田佑（千葉・大日道院拳友会）湯沢怜生・荒川重満（青森・八戸岬道院拳友会）西川仁基・西川公基（愛知・愛知梅坪道院拳友会）阿部聖希・佐々木康（山形・山形中部道院拳友会）酒井規夫・幾田雄也（神奈川・足柄中井道院拳友会）井上拓人・寺澤慶（東京・東京足立東和道院拳友会）田村和貴・田村健登（福島・白河東道院拳友会）竹久保敦也・山本陽輝（神奈川・足柄中井道院拳友会）新郷考生・川村元洋（愛知・名古屋太子道院拳友会）石田達朗・七海希陽人（宮城・青葉道院拳友会）天田明里・原光咲樹（群馬・群馬多々良道院拳友会）
- ◇**小学生4級**＝高木麗那・石川優真（埼玉・埼玉鶴瀬道院拳友会）萩原小紀菜・城田悠基（群馬・前橋中部道院拳友会）浅田永遠・森下颯也（愛知・愛知東浦道院拳友会）富永真杜・山岡天道（東京・東京田無道院拳友会）椎名瞳・佐久間日惟（千葉・市原東道院拳友会）氏家祐・中田暮翼（愛知・名古屋太子道院拳友会）井達優佑・菅野葉（千葉・流山北道院拳友会）天野瑛斗・初芝光貴（千葉・大日道院拳友会）内田舜・朝日靖博（静岡・富士西道院拳友会）千々和舞・岡田朱璃（東京・東京武術館道院拳友会）瀧澤明哉・佐藤賢斗（秋田・秋田湯沢スポーツ少年団）小見一真・富澤拓夢（群馬・群馬北毛道院拳友会）藤田大成・塩田和也（福島・福島鮫川道院拳友会）濱田嘉入・窪田詠（東京・町田南成瀬支部）勝又慈温・高梨咲葵（神奈川・下溝スポーツ少年団）野口優大・野口優仁（青森・八戸岬道院拳友会）高橋千聖・西ノ村孔南（東京・東京武術館道院拳友会）大久保来翼・大久保杏優（岩手・盛岡北道院拳友会）小沢泰聖・溝口千乃（青森・八戸岬道院拳友会）天笠陸・小田切紗羅（群馬・群馬北毛道院拳友会）黒瀧速太・田端吏花（東京・成増北道院拳友会）勝山弥音・吉開啓牙（千葉・流山北道院拳友会）申在樹・鈴木海斗（東京・多摩桜ヶ丘道院拳友会）加辺聖・須藤新史（群馬・上州白根道院拳友会）稲毛颯斗・内田凱斗（東京・久米川道院拳友会）
- ◇**小学生5級**＝山本帆風・小幡龍之介（東京・東京月島道院拳友会）小西杏奈・畑野結月（和歌山・南部スポーツ少年団）竹内百笑・清水瑠偉（神奈川・伊勢原道院拳友会）早田伊武希・臼井一真（東京・東京久が原道院拳友会）石田俊裕・堀井よし（愛知・名古屋植田道院拳友会）立岡愛喜・磯部竜希（愛知・東海なわ道院拳友会）森側爽風・奥山由菜（神奈川・神奈川大和道院拳友会）森井将紘・名取海（神奈川・小田原道院拳友会）吉水佑佑・山口創司（愛知・名古屋太子道院拳友会）城所迅・長谷川大慧（神奈川・伊勢原道院拳友会）伊藤駿斗・秦康一郎（東京・八王子松枝道院拳友会）川崎丹瑚・中島拓海（茨城・水戸スポーツ少年団）藤原匠・山下大和（和歌山・南部スポーツ少年団）木村南音・徳永文奈（千葉・大日道院拳友会）松島光佑・田中慎也（群馬・渡良瀬道院拳友会）大出瑛士・関悦作（神奈川・川崎柿生道院拳友会）日野湧太・津久井帆空（神奈川・神奈川大和道院拳友会）土井颯斗・周藤唯希（岡山・瀬戸町スポーツ少年団）中澤優希・野中拓永（徳島・大麻スポーツ少年団）
- ◇**小学生6級**＝内田駿・宮永颯太（埼玉・朝霞道院拳友会）白田美月・白田華月（長野・佐久平南道院拳友会）清水麗・大沢諒亮（青森・八戸岬道院拳友会）稲吉恵真・村越風善（埼玉・埼玉神屋道院拳友会）和田知晃・和田尚晃（埼玉・和光新倉支部）中澤遥希・佐藤綾起（徳島・大麻スポーツ少年団）里見英杜・里見銀之丞（東京・東京武術館道院拳友会）加納達哉・加納菜子（神奈川・横浜緑園道院拳友会）新井大樹・益子竜成（群馬・渡良瀬道院拳友会）沼倉未磨・佐々木陸志（秋田・秋田湯沢スポーツ少年団）小田愛里・泰地音羽（和歌山・南部スポーツ少年団）
- ◇**小学生見習い〜7級**＝太平大智・植田陽尚（愛知・石ヶ瀬道院拳友会）廣瀬凱・川合琉也（愛知・名古屋太子道院拳友会）井達優惺・小菅陽太（千葉・流山北道院拳友会）荒井天斗・田邊隆志（千葉・木更津岩根道院拳友会）増田紘也・後藤幸志（静岡・富士西道院拳友会）山田樹・山田蓮（埼玉・埼玉神川スポーツ少年団）宮原陸空・柿崎亜門（神奈川・足柄中井道院拳友会）石岡愛将・藤井葉衣樹（群馬・群馬北毛道院拳友会）鈴木匠・松本海翔（千葉・大日道院拳友会）丸井竜二・海老原元希（愛知・岡崎こだるま道院拳友会）久保摩知・国枝美玖（群馬・渡良瀬道院拳友会）木村友南・渡邊璃音（神奈川・川崎柿生道院拳友会）関野夢翔・平野颯汰（神奈川・足柄中井道院拳友会）島田瑞穂・島田祥太郎（群馬・群馬北毛道院拳友会）村田伸彦・奥山陽介（神奈川・神奈川大和道院拳友会）山宮悠輝・大角忠靖（群馬・前橋橋道院拳友会）浅田麗央・山内涼生（愛知・愛知東浦道院拳友会）坂本龍成・民裕格太（和歌山・南部スポーツ少年団）デニス太陽・デニス日向（東京・多摩桜ヶ丘道院拳友会）津山朗慶・赤間福太郎（奈良・奈良郡山道院拳友会）平野友稀・平野稜大（千葉・木更津岩根道院拳友会）今井聖人・古賀陽樹（神奈川・小田原道院拳友会）箕輪光流・亀井陽生（群馬・渡良瀬道院拳友会）関野竜希・莊司幸星（神奈川・足柄中井道院拳友会）本多陸・半田幹（埼玉・朝霞道院拳友会）

《自由組演武》

- ◇**中学生有段の部**＝小林明史・竹内圭太（京都・伏見丹波橋スポーツ少年団）川村優太・大賀美凜（埼玉・埼玉三ヶ島道院拳友会）小沢匠磨・大沢優希（青森・八戸岬道院拳友会）圓堂聖史・徳岡宗一郎（埼玉・草加道院拳友会）田中万琴・

好評発売中



スポーツドクター 辻 秀一 著
四六判・上製・248 ページ

武道やスポーツは「医療である、
芸術である、コミュニケーション
である、教育である」とする筆者が、
指導者のために書いた良きハンド
ブック。ぜひ、ご一読を。



主な目次

- 第1章 「文武両道」の人間教育
- 第2章 真剣勝負を楽しみ、人間的成長を図る
- 第3章 「セルフイメージ」という心のエネルギー
- 第4章 トップアスリートに学ぶ「社会力」
- 第5章 たかが目標、されど目標
- 第6章 「武士道書」に学ぶ
- 第7章 子どもたちの「社会力」を育てる
- 第8章 「オンリーワン」の子どもを育てる

ほんとうの価値の伝え方

武道スポーツの真髄



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

（翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット）

（B5判・上製・DVD付・336頁）

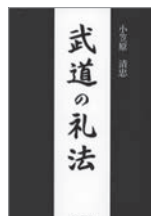


武士道に学ぶ

東京大学大学院教授

菅野 覚明 著

（四六判・上製・344頁）



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

（四六判・上製・278頁）



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



＜増補版＞ 私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

（四六判・上製・326頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）



武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

（四六判・上製・274頁）



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

（四六判・上製・220頁）

日高雅光が選手権者に

銃剣道日本一を決める高松宮記念杯争奪第21回全日本銃剣道選手権大会（主催Ⅱ全日本銃剣道連盟）は8月9日、日本武道館で開催され、前回3位までに入賞した選手と全国各地の予選を勝ち上がった計62名の精鋭が出場し、覇を競った。

出場2回目の日高雅光錬士六段（福岡）が決勝で、連覇を目指した坂元誠教士七段（静岡）を破って、見事に初優勝を手にした。

その他、松野和樹錬士六段（東京）が一昨年に続いて2度目の3位入賞を果たし、八岡慎吾錬士六段（愛知）が初出場ながら3位に入った。

出場資格は前回入賞者の他、各都道府県予選で勝ち上がった錬士六段以上の者に与えられた。

大会はトーナメント形式で行われ、試合は5分三本勝負、時間内に決まらなかった場合は時間無制限の延長一本勝負で勝敗を決した。

第21回全日本銃剣道選手権大会



決勝＝日高雅光（左・福岡）対坂元誠（静岡） 下胴を攻める日高

■序盤戦(1~3回戦)

●第1ブロック

初出場の竹山が快進撃

竹山将智(沖縄)は初戦で中山厚史(大阪)を破ると、2回戦では齋藤慎一(福島)と対戦した。竹山は先制されるが取り返して追いつき、延長で逆転勝利。3回戦は、昨年3位の市原茂(高知)を破った俵山崇(埼玉)を延長の末に、下胴を決めて降した。

角が敗退 八岡がベスト8

4月の優勝大会や国体で活躍する角康大(熊本)が注目を集めたが、初戦で高橋克徳(茨城)に先制しながらも逆転負け。一気に混戦模様となったが、抜け出したのは初出場の八岡慎吾(愛知)だった。八岡は全ての試合で時間内に勝負を決めて、ベスト8に進出した。

混戦を制したのは石川

ここは荻田修弘(神奈川)、竹島慎一郎(鹿児島)、近藤英治(宮城)、石川治樹(石川)と強豪チームで要となつていて選手が集まつたが、竹島が初戦で荻田を制し、その竹島を近藤が破った。3回戦では石川と近藤が対戦し、石川が小手を決めて、混戦の中を勝ち上がった。

根本がまさかの初戦敗退

前回準優勝の根本努(東京)が2回戦から登場したが、栗原慶祐(北海道)を相手に敗退する波乱の展開となった。3回戦は、ここまで全て下胴を決めて勝ち上がってきた日高雅光(福岡)と栗原の対戦。日高は栗原相手にまたしても下胴を奪って、準々決勝進出とした。

●第2ブロック



3回戦=竹山(左)対俵山 竹山の下胴が決まる



3回戦=八岡(左)対松本 八岡が上胴で勝った



3回戦=石川(左)対近藤 石川が表を攻める



3回戦=日高(右)対栗原 日高が得意の下胴で勝利

●第3ブロック

松野、逆転勝利で8強入り

六鎗^{むやう}俊昭（北海道）や田尻竜三（熊本）、松野和樹（東京）といった、本大会入賞の経験を持つ強豪3名が同じ山に入る激戦区となった。田尻は初戦で山本雄一（三重）に敗れる。その山本は2回戦で六鎗に敗れ、3回戦は六鎗と松野の対戦となった。松野は先制されるも粘りの銃剣道で逆転し、8強入り。



3回戦＝松野（右）対六鎗 松野の下胴が決まって逆転

加藤が準々決勝進出

加藤久幸（高知）は1回戦で北原茂（長野）と対戦。これを破ると、続く2回戦は、平裕仁（兵庫）に先制を許す苦しい展開だったが、逆転で勝利をものにしました。3回戦は打って変わって、小野寺昌治（北海道）から軽快に下胴を2本奪い、試合時間わずか1分57秒で準々決勝進出を決めた。



3回戦＝加藤（左）对小野寺 加藤が2本目の下胴を決めた

齊藤が勝ち上がる

齊藤正頼（大分）は梶原千春（大阪）に下胴を奪われるも取り返してなんとか追いつくと、延長の末に降した。2回戦では前回ベスト8の竹村和城（愛媛）を上胴を奪って降し、3回戦に駒を進めると、小野義典（福島）にまたも先制を許す。しかし、時間内に上胴を重ねて、8強に滑り込んだ。



3回戦＝齊藤（左）对小野

坂元、盤石の銃剣道

連覇を目指す坂元誠（静岡）が最後に登場した。初戦の2回戦は、1回戦を1分27秒で二本勝ちして勝ち上がった好調の松瀬賢映（滋賀）が相手だったが、上胴を重ねて、なんなく二本勝ちすると、3回戦は北慎一郎（長崎）から延長で上胴を奪って一本勝ち。危なげない銃剣道で順当にベスト8進出を決めた。



3回戦＝坂元（左）対北 坂元が上胴で攻める

●第4ブロック

■準々決勝



第1試合＝八岡（左）がノドをとらえる



第2試合＝日高（左）の上脰が決まる



第3試合＝松野（右）の強烈な突きが上脰に決まる



第4試合＝坂元（左）が上脰を決めた

冷静な試合運びの八岡が制す

八岡慎吾 ノー上ー 竹山将智

中盤、八岡が竹山の出端にノドを合わせて先制。さらに竹山の連続突きを捌き、竹山が抜くところに上脰を合わせて一本。八岡が二本勝ちで準決勝に進んだ。

●竹山将智選手（沖縄）

「いい状態で大会に臨むことができました。負けたことよりも、小手の位置が少し高いと試合中に注意を受けたことが反省点です」

日高が電光石火の上脰

日高雅光 ノー上ー 石川治樹

開始2秒、日高が初一本で上脰を決めてリードを奪う。中盤、近間で日高が剣先を表から押すと石川の手から木銃が飛び出し、木銃落とし。時間となり日高が勝利を収めた。

●石川治樹選手（石川）

「近藤選手との3回戦は厳しかったです。先に取ってから守りに入ってしまう、攻められる場面が多くなっていました」

機をとらえた松野に凱歌

松野和樹 ノー上ー 加藤久幸

立ち上がりは激しい攻防を見せたが、その後は一転して牽制し合って技が出ない。延長戦、加藤の出端に松野が下脰を突き、抜くやいなや、上脰を突くと、これが決まった。

●加藤久幸選手（高知）

「37歳と出場選手の中では年齢が高い方なので、気持ちを奮い立たせながら試合に臨みましたが、相手は強かったです」

先輩後輩対決は先輩に軍配

坂元 誠 ノー上ー 齊藤正頼

延長戦、齊藤が間合に入ってきた瞬間をとらえた坂元の剣上脱突が上脰に綺麗に決まり、勝利を収めた。

●齊藤正頼選手（大分）

齊藤は4月まで坂元と同じ部隊に所属し、後輩だった。

「選手権で坂元さんと対戦できると思いませんでした。ずっと目標にしていた人なので、思い切って試合に臨みましたが強かったです」

■準決勝

技の冴える日高が決勝へ

日高雅光 下上ー 八岡慎吾

開始15秒、日高が近間からの脱突で八岡の下胴を突いて、いきなり一

本を先取した。八岡は小手の下がつた低い位置から突き上げるように日高の下胴を狙うが有効打突にはならない。2分半、日高が八岡の出端に上胴を合わせて一本。二本勝ちで決勝進出を決めた。

●3位⇨八岡慎吾選手(愛知)

「一戦一戦大事にと思って試合に臨んでいたら、いつの間にかこんな所までできていたの、自分でも驚いています。もともと九州にいたので、日高選手とは対外試合で戦っていました。同い年なので普段から仲がいいです。

今日のように試合会場が一つで、大勢の人が見ている中で試合をすることは滅多にないので幸せです。今後は一から基礎基本を見直して、選手権を想定した稽古に励みたいと思います」

坂元の突きに松野反応できず

坂元 誠 ノー 松野和樹

序盤、坂元が直突で飛び込むと上胴をとらえたかに見えたが、旗は上がらない。その後も坂元が上胴を攻めるがいずれも決まらない。延長に

入っても表から上胴を攻め続ける坂元。延長開始から12分、剣先の交わった間合から坂元が予備動作のない素早い脱突でノドを狙うと松野はまったく反応できず、坂元が2年連続で決勝の舞台へ勝ち進んだ。

●3位⇨松野和樹選手(東京)

「延長戦が続きましたが、練習ができていたのが、体力的には不安はありませんでした。集中力も持続して試合に臨んでいました。坂元選手とは昨年3回戦で当たり、30分ぐらい戦って負けているので、今日は勝たなかったですね。

最後のノドは虚を衝かれて反応できませんでした」



第1試合=日高(左)が八岡の出端に上胴を合わせた



第2試合=坂元(左)の脱突に松野はまったく反応できず



決勝＝日高（右）が下胴で優勝を決めた

■決勝

最後は得意技で優勝を決めた

日高雅光 下ー 坂元 誠

序盤、日高は果敢に攻めるも間合を切られて通用しない。手数は日高が勝るが、坂元が要所で精度の高い技を繰り出し、日高を脅かす。

延長に入って、日高は下胴を、坂元は上胴、ノドを狙う。互いに中途半端な突きで接近し、近間から、日高が引きながら坂元の下胴をとらえると、旗が3本上がり、この瞬間、日高の初優勝が決まった。

●準優勝Ⅱ坂元誠選手（静岡）

「疲れましたね……」

と、大きなため息を一つついた。「自分しか狙えないので連覇を狙っていたんですけど……悔しいです」負けはしたものの入賞したため、来年の出場も決まった。

「年々自分の同期は少なくなってるので、最後の砦じゃないですけど、自分を蹴落として上がっていったければいいと思います」

最後に一言つぶやいた。

「あと一歩だったんですけどね……」

●優勝Ⅱ日高雅光選手（福岡）

「いやあ、うれしいですね」

出場2回目の34歳は優勝の喜びをそう表現した。日高が所属する第4特科連隊には7年前に準優勝をした



吉牟田学がいる。他の大会には同じチームで出場したこともある。「吉牟田さんを越えることが目標でした。決勝で戦った坂元さんは強いので、自分の力を出し切り、その上で負けたら悔いはないと思って臨みました。防御が固かったので、上胴は入らないと思い、得意の下胴を思い切って狙いました」

来年は予選免除で出場できる。

「一つでも上を目指して、その結果、連覇できるように頑張ります」

第21回 全日本銃剣道選手権大会

称号 段位	出場 回数	氏 名	県連盟	称号 段位	出場 回数	氏 名	県連盟
錬六 3		市原 茂	(高 知)	錬六 2		六 鎗 俊昭	(北海道)
錬六 3		俵山 崇	(埼 玉)	錬六 7		岩切 健太	(山 口)
錬六 初		菊地 貴文	(静 岡)	錬六 初		山本 雄一	(三 重)
錬六 初		馬場 崇亘	(長 崎)	錬六 6		田尻 竜三	(熊 本)
錬六 5		中山 厚史	(大 阪)	錬六 3		松野 和樹	(東 京)
錬六 初		竹山 将智	(冲 縄)	錬六 2		好中 大哲	(香 川)
錬六 6		廣瀬 敬久	(富 山)	錬六 2		渡邊 和行	(青 森)
錬六 3		齋藤 慎一	(福 島)	錬六 初		川本 忍	(福 岡)
錬六 2		松本 秀雄	(山 口)	錬六 初		小野寺昌治	(北海道)
錬六 初		西岡 忍	(北海道)	錬六 6		今津 康弘	(広 島)
錬六 4		角 康大	(熊 本)	錬六 初		小野 雅人	(岩 手)
錬六 2		高橋 克徳	(茨 城)	錬六 2		南脇 章吾	(宮 崎)
錬六 初		八岡 慎吾	(愛 知)	錬六 4		加藤 公久	(千 葉)
錬六 初		佐々木尋彦	(秋 田)	錬六 初		平 裕仁	(兵 庫)
錬六 2		東川 智彦	(福 井)	錬六 4		北原 茂	(長 野)
錬六 初		大庭 勇希	(栃 木)	錬六 6		加藤 久幸	(高 知)
教七 4		荻田 修弘	(神奈川)	錬六 初		梶原 千春	(大 阪)
錬六 初		竹島慎一郎	(鹿児島)	錬六 2		齊藤 正頼	(大 分)
錬六 2		高島 武志	(岡 山)	錬七 7		滝沢 賢	(群 馬)
錬六 初		近藤 英治	(宮 城)	錬六 2		竹村 和城	(愛 媛)
錬六 初		井上 幸信	(香 川)	錬六 3		秋元 伸幸	(北海道)
錬六 2		荒川 卓也	(北海道)	錬六 初		小野 義典	(福 島)
錬六 3		石川 治樹	(石 川)	錬六 初		箕輪 吉朗	(新 潟)
錬六 初		加藤 太郎	(京 都)	錬六 初		木下 元揮	(愛 知)
錬六 2		日高 雅光	(福 岡)	錬六 4		木村 智宏	(埼 玉)
錬六 初		勝又 秀太	(静 岡)	教七 6		上井 周平	(鳥 取)
教六 2		谷本 宗巳	(宮 崎)	錬六 2		森 純一	(宮 城)
錬六 2		富樫 貴臣	(山 形)	錬六 初		北 慎一郎	(長 崎)
錬六 2		栗原 慶祐	(北海道)	錬六 2		黒澤 俊弘	(山 梨)
錬六 初		佐々木 昇	(島 根)	錬六 初		松瀬 賢映	(滋 賀)
教七 8		根本 努	(東 京)	教七 8		坂元 誠	(静 岡)

優勝
日高雅光

準優勝
第三位
松野和樹
坂元誠
八岡慎悟



銃剣道の形

打方・浦部聖二教士七段(右) 仕方・中島克直教士七段



銃剣道基本・応用技

大野裕美錬士六段(右)・和田祐子四段

全日本青年
銃剣道大会

団体戦青年第1部

40 普連 A (福岡) が勝利



団体戦青年第1部決勝、大将戦＝40 普連 A・上村（右）が16 普連 B・上口にノドを決める

第44回全日本青年銃剣道大会は、8月8日、日本武道館で開催された。試合は、団体戦（青年第1部、2部）と女子個人戦が行われた。団体戦青年第1部は40普連 A（福岡）、第2部は16普連（長崎）が優勝。女子個人戦は本間美香（神奈川・通信教導隊）が2年連続3回目の優勝を果たした。

◇団体戦（3人制）

トーナメント戦で争われ、各試合3分三本勝負、時間内に勝負がつかない場合は判定により勝敗を決し、勝者数の多いチームを勝ちとした。

▽第1部（高校生を除く16～30歳）

ただし、自衛官は21～24歳

235チームが出場。ベスト4には40普連 A（福岡）、16普連 B（長崎）、37普連 A（大阪）、12普連 A（鹿児島）が揃った。

準決勝、40普連 Aは12普連 Aに先鋒戦で敗れるも、中堅と大将が判定で勝利した。16普連 B対37普連 Aは、16普連 Bが3―0で完封した。

決勝は40普連 Aと16普連 Bが対戦。先鋒戦は16普連 B・高濱雄太が40普連 A・畑村大輔から小手を奪って先制。その後も勢いよく攻める高濱が、上胴を決めて二本勝ち。中堅戦は40普連 A・大久保就矢と16普連 B・馬場大地が対戦し、判定で大久

保が勝利した。

同点で迎えた大将戦は、40普連 A・上村英十と16普連 B・上口渉が顔を合わせた。試合は2分過ぎ、接近戦からの離れ際に、上村が勢いよく飛び込んでノドを奪う。そのまま時間となり、上村が勝利。40普連 Aが3年ぶり3回目の頂点に立った（第37回大会、自衛官第1部優勝の記録を含む）。

◎優勝 40 普連 A・松富敬監督

「年齢制限のため、3人とも今年が最後の試合でした。準決勝、決勝と先制され、苦しい展開が続きました。が、選手はよく頑張ってくれました」

◎優勝 16 普連 A 大将・上村英十選手
「前の2人が必ず繋いでくれると思って戦いました。気持ちでは負けない自信がありました。選手権で優勝して、日本一になるのが夢です」

▽第2部（高校生を除く16～20歳）
113チームが出場。決勝は16普連（長



女子個人戦、決勝＝本間（右・通教隊）が江川（1地対艦連隊）に上胴を決める



団体戦青年第2部決勝、大将戦＝16普連・平井（右）が32普連・黒澤から下胴を奪う

◇女子個人戦
82名が出場。トーナメント戦で争われ、各試合3分三本勝負、時間内に勝負がつかない場合は、判定により勝敗を決した。

四強には、前回優勝の本間美香（通教隊・旧姓酒井）、江川聖美（1地対艦連隊）、遠藤里紗（国士舘大）、大野裕美（旭川）が名を連ねた。

本間対遠藤は、本間が試合終了間

際（と32普連（埼玉）の対戦。先鋒戦は、16普連・宮口悠起が試合開始早々32普連・高松瑞紀に下胴を決めて一本勝ち。中堅戦は、32普連・稲葉光が16普連・山田一雅から上胴を奪って一本勝ちし、星を取り戻した。

勝負のかかった大将戦、16普連・平井良太と32普連・黒澤昌貴の対戦は、平井が序盤から積極的に攻め、下胴、上胴を立て続けに決めて勝利した。結果、2―1で16普連が初優勝を果たした。

◎優勝Ⅱ16普連大将・平井良太選手
「仲間には『大将までまわしていいぞ』と言っていました。嬉しくて言葉になりません。来年は第1部での出場です。また活躍したいです」



団体戦青年第1部優勝＝40普連A（福岡）



女子個人戦優勝
＝本間美香選手（通教隊）
右隣は優勝を祝って駆けつけた夫の巨（わたる）さん。
1カ月前に結婚したばかりという。銃剣道経験者でもある巨さんは、大会前「楽しんでこい」と言葉をかけて本間選手



際に上胴を決めて辛勝。江川と大野の対戦は、判定で江川が勝利した。

決勝は、本間と江川の対戦。開始2分過ぎ、江川は本間の肩を狙う。しかし、本間は木銃を左にはじいてこれを防ぎ、江川を崩す。そこで本間は、すかさず上胴を突いて一本を奪った。さらに本間は上胴を決めて二本勝ち。2年連続3回目の優勝を遂げた。

◎優勝Ⅱ本間美香選手（通教隊）
「技はそれほど持っていないので、真つすぐ、先に出ることだけを考えました。優勝を意識すると試合に影響するので、気負わずに戦いました」

【大会結果】

◇団体戦

▽青年第1部Ⅱ①40普連A（福岡）②16普連B（長崎）③37普連A（大阪）、12普連A（鹿児島）

▽青年第2部Ⅱ①16普連（長崎）②32普連（埼玉）③26普連（北海道）、41普連（大分）

◇個人戦女子の部

▽優勝Ⅱ本間美香（通教隊）

▽2位Ⅱ江川聖美（1地対艦連隊）

▽3位Ⅱ遠藤里紗（国士舘大）

大野裕美（旭川）

日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

(B5判・236頁)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ! 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ

大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ

森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ

森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ

塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ

金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ

多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ

合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ

澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ

桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ

竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(弓馬術)

日本武道館の歴史

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



武道

子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



大先輩に聞く

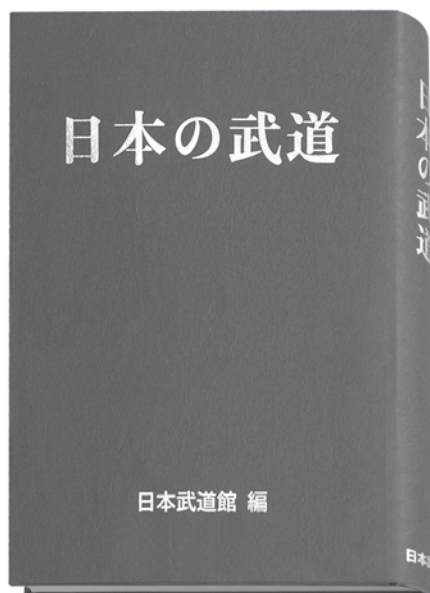
月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法などさまざまな銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!



（B5判・上製・箱入・526頁）

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

日本武道館 編



第48回 全国道場少年剣道大会



小学生の部 東松舘道場が優勝 中学生の部

小学生団体戦決勝先鋒戦Ⅱ東松舘道場・大平（右）の胴が決まる

第48回全国道場少年剣道大会（主催Ⅱ全日本剣道道場連盟）は、7月30日・31日の2日間、日本武道館で開催された。

各都道府県大会の予選を勝ち抜いた947チームが、小学生の部、中学生の部に分かれて5人制の団体戦で争われた。

小学生の部は、東松舘道場（東京）が今宿少年剣道部（福岡）を降し、7年ぶり4回目の優勝。

中学生の部も、東松舘道場（東京）が東レ居敬堂（愛知）に競り勝ち、3連覇を達成した。なお、両部門の優勝を果たしたのは、第30回大会の練兵館（栃木）以来18年ぶりの記録となった。

小・中学生ともに16コートに分かれて、トーナメント方式でコート代表を決定し、16チームによる決勝トーナメントで競われた。なお、本大会より、例年2日目に行われていた小・中学生個人戦錬成大会は、大会運営上の都合により、別の日程に移した。

試合時間は、小学生2分、中学生2分30秒の三本勝負で行い、勝敗の

決しない時は引分けとした。ただし、勝者数、総本数が同数のときは、任意選出による代表戦一本勝負（時間無制限）で勝敗を決した。

■小学生（7月30日・530チーム）

準決勝には、昨年3位の東松舘道場（東京）、今宿少年剣道部（福岡）をはじめ、如水館池田道場（福岡）、武徳館剣道教室（愛知）が勝ち上がった。

東松舘と如水館池田の対戦は、東松舘が2―1で如水館池田に勝利し、7年ぶりに決勝進出を決めた。今宿と武徳館の対戦は、今宿が3―0で武徳館を降し、決勝へ駒を進めた。

▽決勝

先鋒戦、東松舘・大平と今宿・斉藤の対戦、鏑迫り合いから、斉藤が引き面を打った後、大平が間合いを詰め、小手・胴を打込むと、胴が奇麗に決まり一本勝ちを収めた。次鋒戦から副将戦までは引き分けが続いた。

大将戦、東松舘・門間と今宿・田城の対戦、試合時間後半、田城が面に跳び込んだところを、門間の出ば



中学生団体戦決勝副将戦＝東松館道場・吉田（右）が胴を決める



小学生団体・優勝＝東松館道場（東京）



中学生団体・優勝＝東松館道場（東京）



な小手が決まり一本。その後、田城は果敢に攻め続けるも試合終了。2―0で東松館が7年ぶりに優勝を決めた。

◎優勝Ⅱ東松館道場・坂藤真如監督
「優勝を狙っていたので、本当によくやってくれたと思います。今年のチームは小柄なチームなので、鏑迫り合い、体当たりで、当たり負けしないよう稽古を積んできました。連覇できるよう頑張りたいです」

■中学生（7月31日・417チーム）
準決勝に勝ち進んだのは、昨年優勝の東松館道場（東京）、京都太秦少年剣道部（京都）、東レ居敬堂（愛知）、昨年準優勝の昭島中央剣友会（東京）の4チーム。

東松館対京都太秦は、1―0の接戦を東松館が制し、東レ居敬堂対昭島中央は、東レ居敬堂が2―1で勝利した。

▽決勝
先鋒戦、東松館・元井対東レ・片

神。片神の打込んできた面を、元井は返し胴で一本勝。次鋒戦、試合終了間際、東レ・清水が小手を決めて一本勝ちを収め、勝敗を五分に戻す。中堅戦、東レ・三浦が小手を決め先制するも、東松館・小山は面を二本取り返し勝利。続く副将戦、東レ・都築の跳び込み面に対し、東松館・吉田は胴を決める。二本目は吉田が面を決め二本勝ちで勝負を決めた。大将戦、東松館・吉村対東レ・鈴木、小手・面の相打ちとなるが、吉村に

三本の旗が上がり、面を先取。鈴木は小手を返すも試合終了となり、3―1で東松館が制し、3連覇を達成した。

◎優勝Ⅱ東松館道場・井上亮監督
「相手があつての剣道なので、礼法は疎かにしないことを厳しく指導してきました。今回のチームは、他の大会では何度も負けています。しかし、負ける度に一生懸命稽古をし、負ける度に一回り大きくなったチームでした」

【大会結果】

- 小学生団体
 - ▽優勝Ⅱ東松館道場（東京）
 - ▽準優勝Ⅱ今宿少年剣道部（福岡）
 - ▽3位Ⅱ如水館池田道場（福岡）
- 武徳館剣道教室（愛知）
- 中学生団体
 - ▽優勝Ⅱ東松館道場（東京）
 - ▽準優勝Ⅱ東レ居敬堂（愛知）
 - ▽3位Ⅱ京都太秦少年剣道部（京都）
- 昭島中央剣友会（東京）

日本武道館の単行本

著者の80年の生涯にわたる
剣道修錬を集大成した
本格的剣道修行論

好評発売中!



(写真提供：『剣道時代』)

全日本剣道連盟相談役・剣道範士九段

堀籠 敬藏 著

(四六判・上製・344頁)

剣の清流

目次

- 第一章 剣道
- 第二章 剣道の歴史
- 第三章 修錬・先人に学ぶ
- 第四章 剣道の極意
- 第五章 武道における「礼」
- 第六章 剣理
- 第七章 指導者としての心構え



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



高め合う剣道

筑波大学名誉教授

佐藤 成明 著

（四六判・上製・564頁）



刀剣の 歴史と思想

筑波大学大学院准教授

酒井 利信 著

（四六判・上製・346頁）



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



禅の思想と剣術

北海道大学大学院教授

佐藤 錬太郎 著

（四六判・上製・386頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



人を育てる剣道

剣道範士八段

角 正武 著

（四六判・上製・268頁）



武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

（四六判・上製・274頁）

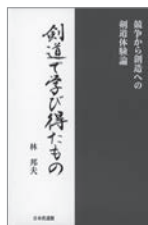


兵法家伝書に学ぶ

文教大学教授

加藤 純一 著

（四六判・上製・344頁）



剣道で 学び得たもの

中京大学教授

林 邦夫 著

（四六判・上製・298頁）



団体戦決勝先鋒戦、高知・濱岡（左）が石川・佐藤を下手投げで破る



優勝した高知県。左から谷村、濱岡、石崎

◇第24回全国都道府県中学生相撲選手権大会◇

高知県が 15年ぶりに優勝

個人戦は川上竜虎と山市大悟が初優勝

（無差別級）

（軽量級）

第24回全国都道府県中学生相撲選手権大会が、8月4日、東京・墨田区の国技館で開催された。大会では都道府県対抗の団体戦と、無差別級・軽量級の個人戦が行われた。

団体戦では、決勝で高知県が前回優勝の石川県を破って、15年ぶり3回目の優勝に輝いた。

個人戦無差別級では3年生の川上竜虎（熊本）が、軽量級では3年生の山市大悟（青森）が、それぞれ初優勝を手にした。



武道優良団体表彰



開会式

大会は午前9時に開会した。開会式では、南和文日本相撲連盟副会長が挨拶を述べ、続いて北の湖敏満日本相撲協理理事長が来賓として挨拶し、選手を激励した。舩田守審判長による注意の後、前年度優勝団体・石川県の佐藤敦史選手が選手宣誓し、開会式は終了した。

開会式に続き、日本武道協議会による平成25年度少年少女武道優良団体の表彰が行われ、中泊道場（青森）と津幡町少年相撲教室（石川県）の2団体に、南副会長から表彰状が手渡された。

試合は、はじめに団体戦の予選から行われた。団体戦は3人制。46の都道府県が出場し、予選では各団体3回戦を行い、勝数の多い上位16団体が決勝トーナメントに進む。

3回戦を終えた結果、青森県、石川県、愛知県、高知県が全勝の1位で、そのほか、岩手県、佐賀県、鳥取県、鹿児島県、沖縄県、熊本県、京都府、長崎県、埼玉県、千葉県、長野県、愛媛県の計16団体が決勝トーナメント進出を決めた。



ここで、次の個人戦軽量級の試合に移った。軽量級には45名の選手がエントリーし、トーナメント戦で争われた。準決勝に駒を進めたのは、

原田勇樹（山口）、宮城陽（沖縄）、山市大悟（青森）、齊藤匡平（秋田）。

——軽量級準決勝——

原田勇樹 ○押し出し 宮城陽

山市大悟 ○寄り倒し 齊藤匡平

原田対宮城は、原田が宮城を押し出して決勝進出を決める。山市対齊藤では、山市が齊藤の腕の下にもぐり込んで土俵際に追い込み、寄り倒

して勝ち。決勝は、山市と原田の対戦となった。

——軽量級決勝——

山市大悟 ○すくい投げ 原田勇樹

立ち合いから山市は原田の右肩、左脇をしつかり掴むと、そのまま左方向に投げて初優勝を決めた。



軽量級の後には、無差別級の試合が行われた。無差別級は、団体戦予選で2勝以上を上げた選手により、トーナメント戦で争われた。出場選手は64名となった。準決勝には、川上



個人戦軽量級決勝 山市（右）対原田

竜虎（熊本）、干場伸介（石川）、前回3位の佐藤敦史（石川）、山口怜央（愛媛）が勝ち進んだ。

——無差別級準決勝——

川上竜虎 ○引き落とし 干場伸介

佐藤敦史 ○引き落とし 山口怜央

川上対干場は、低い体勢で攻め込んできた干場のまわしを川上が掴み、引き落として川上の勝ち。佐藤

対山口は押し相撲となるが、佐藤が勢い良く押してきたところを、山口が引き落とした。決勝では川上と山口が対戦することとなった。

——無差別級決勝——

川上竜虎 ○寄り切り 山口怜央

川上が力強く突いて、山口を土俵際まで追い込むが、山口は何とかこれをかわす。再び突く張りを受けた

山口が身を翻すと、川上が勢い余って体のバランスを崩す

が、すぐに立て直して、山口を寄り切った。川上は初優勝を手にした。



個人戦がすべて終了すると、いよいよ

団体戦の決勝トーナメントが始まった。

ここまで勝ち残った団体同士の戦いとあ

って、1回戦では、3人全勝の団体が一

つも出ないほど試合は白熱した。

個人戦無差別級決勝 川上（右）対山口



団体戦準決勝中堅戦 干場（手前）対長谷川

1回戦を勝ち抜いた8チームによる準々決勝、前回優勝の石川県は鳥取県に3対0で勝ち、その強さを見せつけた。また、愛知県が岩手県に、高知県が鹿児島県に、埼玉県は京都府に、それぞれ2対1で勝って、準決勝進出団体が揃った。

——団体戦準決勝①——

石川県3—0愛知県

佐藤敦史 ○寄り倒し 飯田隼司

干場伸介 ○すくい投げ 長谷川聖記

森田宗太郎 ○寄り倒し 白藤聖陽

先鋒戦、石川・佐藤が立ち合いから愛知・飯田を力強く突き上げて土俵際に詰め、寄り倒した。中堅戦で



団体戦準決勝中堅戦 石崎（右）対菅野

は、石川・干場が抱え込むように諸手を差して、愛知・長谷川を下手投げで倒す。大將戦でも石川・森田が愛知・白藤を寄り倒し、石川県が3勝で6年連続の決勝進出を決める。

——団体戦準決勝②——

高知県2—1埼玉県

濱岡直弥 ○突き落とし 大木治宇

石崎拓馬 ○下手出し投げ 菅野陽大

谷村宗太郎 小手投げ ○伊藤 周

先鋒戦では、高知・濱岡が、埼玉・大木の押す勢いに合わせて突き落とす。中堅戦、身長178センチの埼玉・菅野に対し、162センチの高知・石崎は低くもぐりこんで、菅野の前陣を

とって下手出し投げを決めた。大将戦では埼玉・伊藤が小手投げで高知・谷村を降し、結果は2対1で高知が8年ぶりに決勝戦へ進む。

——団体戦決勝——

石川県0—3高知県

佐藤敦史 下手投げ○濱岡直弥

干場伸介 突き落とし○石崎拓馬

森田祥梧 寄り切り○谷村宗太郎

先鋒戦、石川・佐藤が力強い突っ張りを繰り出すと、高知・濱岡は土

俵際に寄せられるが、残ってこれを

かわす。ここから四つに組むと、濱

岡が佐藤を引き寄せ、下手投げで土

俵の外に投げ飛ばした。中堅戦では、

高知・石崎が素早く身を翻しながら

干場を突き落とす。ここで、2勝を

上げた高知県の優勝が決定した。大

将戦でも、高知・谷村が石川・森田

を寄り切つて、結果は3対0となる。

高知県が優勝するのは15年ぶり3回目のこと。

優勝コメント

◎高知県先鋒・濱岡直弥選手

「優勝できて最高の気分です。決勝

の相手の石川県は、去年から目標と

していたので、今までの練習の成果

を出して勝つことができて良かった

です。チーム3人は、普段は皆、別々

の学校で稽古していますが、合宿な

どで一緒に相撲を取ることがあるの

で仲は良く、今日の勝因もチームワ

ークの良さだったと思います」

◎高知県監督・倉本英樹氏

「一試合一試合を大事に戦いまし

た。石川県は本命だと思っていまし

たが、特別な対策はしていません。

うちは飛び抜けた選手はいません

が、それぞれが自分の力を本番で発

揮してくれました。3人でカバーし

合つて戦うということをずっと言っ

てきましたし、チームワークは抜群

です。控えの選手も含めて、声を掛

け合い、いい雰囲気で作えました」

◎無差別級・川上竜虎選手（熊本）

「1年生の時からこの大会での優勝

を夢見ていたので嬉しいですね。自分

の得意な相撲は突き相撲ですが、膝

の怪我也あって、今日はあまり実力

を発揮できませんでした。伯父が尾

上親方（元小結濱ノ嶋）なので、把

瑠都関（尾上部屋）に憧れています。

まずは高校へ進学して強くなり、将

来は大相撲の道へ進みたいですね」

◎軽量級・山市大悟選手（青森）

「去年、軽量級で青森の先輩が優勝

し、青森としての連覇を目指してい

たので、1年前から緊張していまし

た。3位に入れただけでも驚いたの

で、後は気楽にいこうと思って相撲

を取りました。中学校最後の全国大

会だったので嬉しいですね。これから

体重を増やして、高校生になっても

活躍できたいと思います」

【大会結果】

◆団体戦

優勝 高知県

第2位 石川県

第3位 愛知県

埼玉県

◆個人戦無差別級

優勝 川上竜虎（熊本）

第2位 山口怜央（愛媛）

第3位 干場伸介（石川）

佐藤敦史（石川）

◆個人戦軽量級

優勝 山市大悟（青森）

第2位 原田勇樹（山口）

第3位 宮城陽（沖縄）

齊藤匡平（秋田）



団体戦決勝中堅戦 石崎（右）対干場



6年生決勝、小関（左）対土屋＝小関が寄り切って優勝

やっ
てま
れ!!

わんぱく横綱に小関拓道（青森）

わんぱく相撲
全国大会

第29回わんぱく相撲全国大会（主催Ⅱ財団法人日本相撲協会・公益社団法人東京青年会議所）は7月28日、東京・両国の国技館で開催された。全国各地で小学4年生から6年生までの約4万人が参加して予選が行われ、129チーム387名の選手が本大会に出場した。試合は各チームから1名ずつ参加の学年別トーナメント戦で争われ、熱戦が繰り広げられた。

小学6年生の部は小関拓道（青森・やってまれ）が、5年生の部は花岡真生（熊本・宇城）が、4年生の部は篠田裕之（石川・羽咋）が、それぞれ初優勝を飾り、第29代わんぱく横綱の座についた。

なお、各選手の個人成績を点数換算し、その合計点で競われる団体戦は、宇城（熊本）が17点で6年ぶり4回目の優勝を果たした。2位は11点でやってまれ（青森）、3位は9点でうなぎ静岡（静岡）が入った。



会場の国技館



昨年4年生横綱土俵入り＝池田亮（七尾）



昨年5年生横綱土俵入り＝下橋颯斗（富士山静岡）

□6年生

4年生のときに優勝の下村湧偉（十和田）は4回戦で敗退。前回わんぱく横綱の下橋颯斗（富士山静岡）は、準々決勝で小関拓道（やってまれ）に送り倒しで敗れた。

準決勝に勝ち上がったのは、その小関と土屋和也（うなぎ静岡）、志戸俊輔（やつしろ）、上條深能（愛知B）。

小関と志戸の取組は、小関が志戸に廻しを取らせず、押し出して勝利。土屋对上條は、土屋が立ち合いから押しで攻め、最後は左で上手を取って寄り切った。

決勝、小関は立ち合いで低く当たって土屋の上部を起こし、すかさず

6年生準決勝、小関（奥）対志戸
小関が押し出して決勝進出を決めた



左上投げを打つ。土俵際まで追い込まれ浮き腰の土屋に、小関は上手を離さず体勢を低くして、勢いよく寄り切った（右写真真）。

◎優勝 小関拓道選手（やってまれ）

チーム名の「やってまれ」は津軽弁で、「やってしまえ」の意。相手に相撲を取らせず、一方的な取組で勝利する姿とイメージが重なった。しかし、当の本人は「去年は4回戦で負けたので、優勝する自信はありませんでした。決勝は、うまく寄り切ることができました」とやや控えめのコメント。

将来の夢は、アマチュア相撲の指導者になって子供たちに相撲を教えたいと語った。

6年生準決勝、土屋（右）对上條
土屋が寄り切って勝利



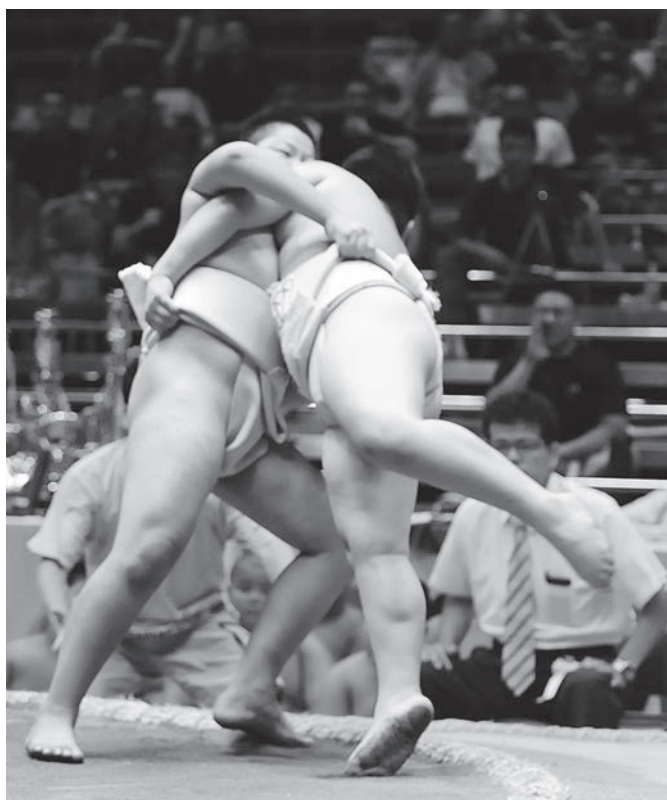
□5年生

前回優勝の池田亮（七尾）は、4回戦で村山豪（千葉県選抜）に寄り倒して敗れた。勢いづく村山は、次の取組（準々決勝）で武内翔夢（ふくい）を寄り切るも、準決勝で花岡真生（宇城）に寄り倒して敗れた。もう一方のブロックでは、準決勝で坂本博一（東京選抜）が本多力也（那須野ヶ原）を寄り倒して退けた。

決勝は、花岡対坂本。両者鋭い立ち合いから右四つとなる。花岡は右上手投げで攻めるも決めきれず、坂本の寄りを受ける。粘る花岡は左で下手を掴み、土俵際で打っ棄って勝利した。

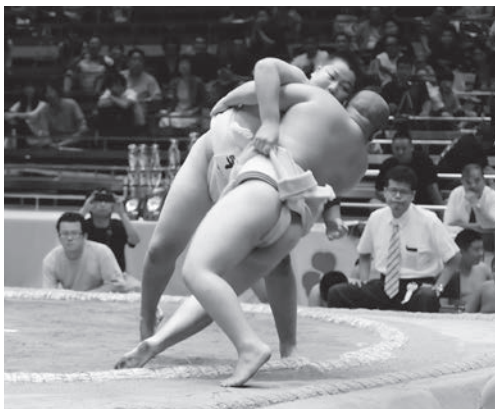
◎優勝Ⅱ花岡真生選手（宇城）

「前回はいい相撲が出来ず、悔しい思いをしたので、借りを返すつもりで戦いました。琴奨菊のように粘り強く、白鵬のように力強い力士になりたいです」



5年生決勝、花岡（左）対坂本＝花岡が打っ棄って優勝

5年生準決勝、花岡（奥）対村山
Ⅱ花岡が寄り倒す



5年生準決勝、坂本（右）対本多
Ⅱ激しい押し合いの後、坂本が寄り倒した



大会風景



各学年横綱＝前列左から、4年生・篠田、5年生・花岡、6年生・小関

□4年生

四強には篠田裕之（羽咋）、川副楓馬（宇城）、中塚玄起（備前）、栄龍征（奄美大島）が揃った。

準決勝、篠田対中塚は、篠田が左でおっつけながら、一気に押し出した。川副と栄の取組は、立ち合いから川副が右で下手をがっちり掴み、そのまま寄り切った。



4年生決勝、篠田（奥）対川副。篠田が豪快な小手投げで優勝

決勝、川副は立ち合いで低く当たり、左手で篠田の前襟を狙う。しかし、篠田は右手を絞って取らせず、そのまま前に寄る。

攻めの手だてを失った川副に、篠田は体を左に開きつつ、豪快な小手

投げで川副を降した。

◎優勝 篠田裕之選手（羽咋）

「決勝は、いい形になりましたが、たまたまです。押しをもう少し練習したいと思います。将来は大相撲の横綱になりたいです」

【大会結果】

◇小学6年生▽横綱 小関拓道（青森・やつてまれ）▽大関 土屋和也（うなぎ静岡）▽関脇 志戸俊輔（熊本・やつしろ）、上条深能（愛知B）

◇小学5年生▽横綱 花岡真生（熊本・宇城）▽大関 坂本博一（東京選抜）▽関脇 村山豪（千葉県選抜）、本多力也（栃木・那須野ヶ原）

◇小学4年生▽横綱 篠田裕之（石川・羽咋）▽大関 川副楓馬（熊本・宇城）▽関脇 中塚玄起（岡山・備前）、栄龍征（鹿児島・奄美大島）



4年生準決勝、篠田（左）対中塚
 篠田が押し出して勝利



4年生準決勝、川副（左）栄
 川副が下手を掴んで寄る



一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法などなごた銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!

日本の武道

日本武道館 編

好評発売中!

日本武道館 編

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

(B5判・上製・箱入・526頁)

目次

序章

刊行の辞：塩川正十郎 日本武道館・日本武道協議会会長
刊行にあたって：松永 光 日本武道館理事長
武道のすすめ：養老孟司 東京大学名誉教授
武道憲章（「武道憲章」英訳文）（ごも武道憲章）
カラー口絵（日本武道館、9武道・10日武協30年のあゆみ）

第1章 日本の武道

第1節 日本の武道…………… 杉江正敏 大阪大学教授
第2節 武士道から武道へ…………… 菅野寛明 東京大学大学院教授
第3節 武道の近代化…………… 嘉納治五郎師範の教え…………… 村田直樹 講道館図書資料部長
第4節 武道の魅力…………… 大保木輝雄 埼玉大学教授

第5節 学校武道の歴史…………… 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道の教育力…………… 菅野 純 早稲田大学教授
第7節 日本武道館…………… (財)日本武道館

第2章 日本の古武道

第1節 日本の古武道…………… 横瀬知行 古流武術研究者
第2節 古武道の技と心……………

第3章 現代の武道

第1節 柔道…………… (財)全日本柔道連盟
第2節 剣道…………… (財)全日本剣道連盟
第3節 弓道…………… (財)全日本弓道連盟
第4節 相撲…………… (財)日本相撲連盟
第5節 空手道…………… (財)全日本空手道連盟
第6節 合気道…………… (財)合気道連盟
第7節 少林寺拳法…………… (財)少林寺拳法連盟
第8節 なぎなた…………… (財)全日本なぎなた連盟
第9節 銃剣道…………… (社)全日本銃剣道連盟

第4章 組織・研究機関

第1節 日本武道協議会……………
第2節 全国都道府県立武道館協議会……………
第3節 日本武道学会……………
第4節 日本古武道協会……………
第5節 武道学科等設置大学…………… ① 国際武道大学 ② 国士館大学
③ 東海大学 ④ 日本体育大学 ⑤ 鹿屋体育大学 ⑥ 中京大学
⑦ 天理大学 ⑧ 筑波大学

第5章 資料編

第1節 役員名簿・組織図……………
第2節 日本武道協議会武道功労者一覧……………
第3節 全日本選手権大会優勝者一覧……………
第4節 年表「武道・近代百四十歩の歩み」中村民雄 福島大学教授
第5節 学校体育における武道の変遷 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道主要参考図書……………

(現職・法人名は刊行時)

編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授
中村 民雄 著
(四六判・上製・370頁)



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編
翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット
(B5判・上製・DVD付・336頁)



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー
菅野 純 著
(四六判・上製・410頁)



大先輩に聞く

月刊「武道」記者
田谷 将俊 著
(四六判・上製・376頁)

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。



(B5判・236頁)

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 田代しんたろう 著



相撲は4名の先生方を紹介

武道各種目の概要を見開きで解説

塔尾武夫 現代相撲かくあるべし 下村勝彦 静岡焼津 さかなの町のわんぱく力士
住吉和則 相撲好き遺伝子を守る！ 安井和男 先輩部長が育てる侍力士